デジタル分野で活躍できる人材を育てる

先進ロボット

ICT機器

遠隔授業参加

プログラミング学習

高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）採択校への御案内です。

テレロボット temiについて

テレプレゼンスアバターロボット（以下、テレロボット）は遠隔操作できるロボットで、カメラやマイクスピーカーを通じてリアルタイムに映像や音声を送受信し、遠隔地に自分自身を存在させることができるICT機器です。

01 自動説明ロボ機能

事前にプログラムを作成することで
自在に移動しながら説明案内が可能です。

シーケンス（簡単プログラミング）

**プログラム作成
誰でも可能**

説明の読み上げや動画再生、展示物間の移動を管理画面から自由に設定できます。

temi V3の主要性能

- 13.3インチ IPSモニター
  - 動画再生
  - 画像表示
- BGMスピーカー
- 多言語発話
- 自律移動

設定トップページ

設定可能・接続可能な temi を一覧表示。シーケンス、マップの共有や本体詳細設定など可能です。

マップエディター

一度の走行で、部屋のレイアウトを把握して、マップを簡単に作成できます。正確な地点認識と、登録地点へスムーズな移動が可能です。

02 テレビ電話ロボ機能

遠隔地にいても「まるでそこにいるかのように」
その場の会話に参加することができます。

ビデオコール（テレビ電話）

**temiに入って
テレビ電話しながら**

**現地でのtemi移動など
ロボット操作可能**

あらかじめ地点登録しておいた場所に、ワンクリックで移動可能。巡回や視察にも活用できます。
※パソコン / スマートフォン対応

プログラミング

temiは直感的に操作できるノーコード・プログラミングシステム「シーケンス機能」で、自動案内ロボや説明員ロボとして活躍します。生徒のプログラミング学習の教材としてもご利用頂けます。授業カリキュラム作成の支援、講師出張、アイデアソンも対応します。

カリキュラム例

01 基本機能 利用トレーニング

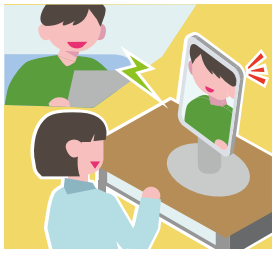
02 シーケンス プログラミング

03 ＳＤＫ プログラミング

テレロボット利用シーン

01 生徒が使う

入院中や不登校、感染症による自宅療養中の生徒が、遠隔地からクラスに参加することが可能です。



02 外部講師が使う

特別講師や専門教員が教員不足の離島や中山間地などに接続し、専門性の高い教育を広域に提供することが可能です。

03 教員が使う

子育てや介護中の教員が自宅から授業を行うなど、多様な働き方を支援できます。
さらに、教員の指導や育成にも活用することが可能です。

04 外部生徒（国内外）が使う

海外提携校交流、入学希望者向けオープンスクール、在校生の大学進学や就職相談に利用できるほか、OBOGも参加することができます。

テレロボットtemiでのカリキュラム例

テレロボット体験、授業で導入するなら？
教育現場に合わせたカリキュラム例をご紹介します。

STEP 1 まずは、知る

テレロボットtemi体験・勉強会

社会で活躍し始めているテレロボットの仕組みや事例を学びながら、自分で操作してみる体験プログラム。テレロボットtemiを通じて「動く・話す・つながる」技術の楽しさと可能性に触れます。機能を理解したあとは、自分たちの生活や、これからの社会にどう役に立つのかをグループディスカッションし、発表します！

STEP 2 実際に体験してみる

テレロボット出前授業（数理学博士）

数理学の博士から実際に遠隔からtemiを使った出前授業を受けることができます。当日の現地教室にはテクニカルサポートスタッフがいるので安心。

講師：数理学博士　原田 哲夫 氏
産業数理研究所 Calc 数理解析部門部長・営業部長
広島大学大学院先進理工系科学研究科
数学プログラム 研究員　広島工業大学非常勤講師
※対応できる学校数に限りがあります。
※講師は変更する場合があります。

STEP 3 自分たちで動かす

プログラミング作成

temiのノーコードプログラミング「シーケンス機能」を使って、実際に移動や音声案内、映像表示、遠隔会話の流れをチームで立案&設定。プログラムの応用を楽しく学び、ロボットのUIUXに関する知見を深めます。
「学校案内ロボット」などのテーマでプログラミング実施します。

STEP 4 社会へ価値提供する

地域施設の連携企画・実証

実際に地域案内施設と提携して、temiを使っての企画を自分たちで制作します。完成したコンテンツは、提携先の地域施設で実証。社会への価値提供とプロジェクトマネジメントを体験します。

施設例

学校	公共施設	博物館

他にもデジタル人材育成に役立つツールを取り揃えております

3Dデジタルツイン

3Dデジタルツインを活用して実空間や実施設をデジタルデータ化。実在する場所をデジタル空間にすることで得られるメリットを探求することを授業や研究学習に活用できます。

詳しくは右のQRコード(https://ipresence.jp/d-twin/)をご覧ください。

テレプレゼンスアバターロボット

OriHime（オリヒメ）
ボディランゲージができる卓上型

製品情報はこちら
https://ipresence.jp/orihime/

kubi（クビー）
頷きと首振りを表現できる卓上型

製品情報はこちら
https://ipresence.jp/kubi/

telepii（テレピー）
左右を見まわせる最もシンプルな卓上型

製品情報はこちら
https://telepii.com/

利用方法の御提案

先進ICT活用校における利用

01 先端技術の活用について講義

大分県立情報科学高等学校にて出張講義を実施。テレロボットtemiを目の前で動かしながら、機能や具体的な活用方法を紹介。他にも３Dデジタルツインの解説や体験など、生徒たちは盛り上がりながら興味津々に。

02 研究発表にテレロボットでアバター参加

大分県立佐伯鶴城高等学校にて実施された生徒の研究発表会に、東京大学の教授がテレロボットtemiで遠隔参加！生徒から発表を聞いた後に、直接コメントとアドバイス。生徒たちは良い緊張感と学びの深堀りを得た。

特別支援教育における利用

「見る」「聞く」「話す」といった社会との交流経験が少なくなりがちな生徒に対し、多様な人や場所と関わる機会を提供できる、分身オンライン会議システム。新しい空間とつながることで生徒の、知りたい問いかけてみよう、という主体性を引き出します。

導入サポート

この度は「高等学校DX加速化推進事業」採択おめでとうございます。貴校にて目指される成果と御予算をお聞きして、最適な機器やサービスを御紹介させて頂きます。まずは下記へお問い合わせください。（学校現場での過去事例や利用シーンも御紹介致します）
※全国で複数の教育委員会、教育庁と取引実績が御座います。

iPresence
Teleportation as a Service

iPresence株式会社
神戸本社
神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションマート
東京営業所
東京都渋谷区桜丘町14-1 ハッチェリー渋谷

お問い合わせ /オンライン会議予約
mail info@ipresence.jp
tel 050-3138-4828
web https://ipresence.jp/ 担当：丸山